

平成26年度第4回 印西市市民活動推進委員会 会議要旨

1. 開催日時 平成26年8月22日（金） 午後2時～4時20分
2. 開催場所 文化ホール2階 多目的室
3. 出席者 牧野昌子委員長、植本崇委員、林正信委員、植村泰則委員、
近藤りえ子委員、大野定俊委員、玉井和幸委員、宗前尚子委員、
桑原玉樹委員、山野井美和子委員 以上10名
4. 欠席者 石野秀樹委員
5. 発表者 提案者10名
6. 事務局 松田課長、本田、杉山
7. 傍聴者 1名（定員20名）、関連部署職員4名
8. 会議内容 企画提案型協働事業 公開審査会／第2次審査
（全て公開）
 - （1） 開会
 - （2） 委員長あいさつ
 - （3） 印西市市民活動推進委員の紹介
 - （4） プレゼンテーションの進め方と審査方法等の説明
 - （5） プレゼンテーション
 - 提案1 市民ミュージカル
（ミュージカルカンパニー「いちごハウス」）
 - 提案2 道作古墳群歴史広場の維持管理事業
（特定非営利活動法人小林住みよいまちづくり会）
 - 提案3 竹袋調整池と周辺地域の維持管理事業
（特定非営利活動法人エコネットちば）
 - 提案4 印西市木下地区歴史講座
（木下まち育て塾）
 - （6） 審査結果発表・講評
 - （7） 閉会

9. 議事録

（5）プレゼンテーション

提案1 市民ミュージカル（ミュージカルカンパニー「いちごハウス」）

提案者の発表

- ・パワーポイントを使い、過去の公演及び提案の企画概要について説明が行われた。

質疑応答

- ・（質問）団体の10周年記念事業ということだが、これは10年前に実施された市民ミュージカルと同様の企画内容と考えてよいか。

- (回答) 基本的に同じ企画内容である。今回の提案が採択されなくとも実施する予定であり、文化ホールも予約している。
- ・ (質問) 協働事業として実施するのであれば、広く市民に参加を呼びかけることが望ましい。例えば、脚本作りの段階から市民が参加する、あるいは実行委員会形式で実施することは検討していないか。
- (回答) 経験上、実行委員会だと実際には実働メンバーに限られるため考えていない。ただし、環境や子ども関係の団体などに協力を仰ぎながら進めていきたいと考えている。
- ・ (質問) 事前に関連部署に相談していないと聞いているが、その理由は何か。
- (回答) 第2次審査が終わってから協議するつもりだった。
- ・ (質問) 個人演出家のプロの方に105万円の謝礼を支払う計画になっているが、いちごハウスの中にプロやプロを目指すようなメンバーはいるのか。
- (回答) 演出家への謝礼は本来の必要ギャラより安い金額でお願いしている。この演出家は10年前の市民ミュージカルでも参加しており、印西の文化振興に理解がある中で協力いただいている。団体の中には演出家を目指しているものや、子どもたちの中に演技を続けたいと考えているものがある。
- ・ (質問) 市民公募の具体的な人数は。
- (回答) やる気があればよい。特に人数の制限は設けていない。

提案2 道作古墳群歴史広場の維持管理事業（特定非営利活動法人小林住みよいまちづくり会）

提案者の発表

- ・ パワーポイントを使い、草刈り、樹木管理、落ち葉かき、ゴミ収集を行うとともに、年2回の文化財普及イベントを開催するという年間事業計画について、提案書に沿った説明が行われた。

質疑応答

- ・ (質問) 関連部署では、通常の委託業務との違いをどう考えているのか伺いたい。
- (事務局回答) 関連部署の生涯学習課に確認したところ、文化財の保存は基本的にそれが所在する地域との連携が重要と考えていることや、提案がきめ細かく、また過去10年にわたり団体メンバーが草刈を実施してきた実績から、事業計画以上の成果が期待でき、協働事業のメリットがあるものと評価しているとのことだった。
- ・ (質問) 提案書にある高度なスキルとは具体的に何か。
- (回答) 第一に刈払機の使用経験である。実施に当たり、団体及び共に活動する予定の馬場町内会と講習会やミーティングを実施し、怪我のないよう努める。

次にイベントの開催に当たり、団体で移動式パラソルなど独自の備品を持っている点である。

- ・（質問）大幅な経費節減とあるが、実際にどの程度節減になるのか。
- （回答）シルバー人材センターの単価表の最低額を採用した。市内業者の1㎡あたりの草刈単価は1,000円程のようで、半額以下で実施できるものと考えている。
- ・（質問）過去に古墳に関連したイベントを実施したことがあるか。また、イベント収入は何に支出したか。
- （回答）小林ウォーキングを実施するときは、道作古墳群を拠点としている。昨年生涯学習課の協力を得て古墳の出土品を説明する企画を実施した。
- ・（質問）道作古墳群はあまり市民に知られていないのが実状。今後、市民へのイベントのPR方法などはどう考えているか。
- （回答）市広報や地域新聞を媒体に周知している。4月の小林牧場の花見時期にあわせてイベントを実施し、より多くの市民に来ていただきたいと考えている。

提案3 竹袋調整池と周辺地域の維持管理事業（特定非営利活動法人エコネットちば）

提案者の発表

- ・パワーポイントを使い、維持管理の現状と年間事業計画について提案書に沿った説明が行われた。

質疑応答

- ・（質問）今回が7回目の提案になる。以前にも尋ねたことがあるが、通常の委託契約などに切り替えて実施することができないのか、関連部署に確認したい。
- （事務局回答）関連部署である都市整備課に確認したところ、市の計画で本管理区域は公園として位置付けられていないため、地方自治法上の公の施設として指定管理者制度を導入することはできない。同様に、企画提案型協働事業によらない委託契約を行うとなると、プロポーザルによる公募にかけることとなる。以上から、契約制度上直接委託は難しく、また事業内容からも、企画提案型協働事業への提案がもっとも協働のメリットを発揮できるものと考えているとのことだった。
- ・（質問）草刈りの単価はどうなっているか。
- （回答）耕運機、刈払機、バロネスという機械を使っている。機械の単価は1万㎡あたり15円、手刈りの部分は1㎡あたり67円、池の中が1㎡あたり100円となっている。草が伸びすぎるとクリーンセンターでの処分が必要となり費用もかかるので、年8回作業を行い、刈った草が肥料になるようそ

のままにしている。体力的に非常に厳しい作業だが、暑い時期は熱中症に気をつけながら実施している。

- ・（質問）団体が負担している案内看板材料費は、毎年書き替えを行っているのか。
- （回答）一昨年は掲示板自体を取り換えた。その他、周知内容を追加したり、お祭りの案内看板を作成している。

提案4 印西市木下地区歴史講座（木下まち育て塾）

提案者の発表

- ・パワーポイントを使い、昨年度の実施状況と、年間事業計画について提案書に沿った説明が行われた。

質疑応答

- ・（質問）講座修了後にフォローアップを行っているか。
- （回答）定期講座の参加者に特別講座への参加を促している。会への参加者を増やすことをひとつの目的としているが、4名が新規に加入した。まだまだ物足りないと考えており、今後もさらに働きかけを行っていきたい。
- ・（質問）子どもたち対象の講座を計画しているか。
- （回答）バスツアーは小中学生に対し積極的に声かけしたいと考えている。
- ・（質問）同じ内容の講座が続いている。講座以外のフォローアップ事業を考えたほうが今後も継続していけるのではないか。例えば修了証を出したりしているか。
- （回答）修了証は簡単なものだが毎回出している。また、参加者の拡大にもつなげていけるよう、今後は木下や利根川に関連した成果物の刊行について検討していきたいと考えている。

（6） 審査結果発表・講評

牧野委員長の進行のもと、各委員の評価を集計した審査結果を次のとおり発表した。

【審査結果】

提案1 市民ミュージカル（ミュージカルカンパニー「いちごハウス」）

○2 △8 →否

提案2 道作古墳群歴史広場の維持管理事業（特定非営利活動法人小林住みよいまちづくり会）

○10 △0 →可

提案3 竹袋調整池と周辺地域の維持管理事業（特定非営利活動法人エコネットちば）

○10 △0 →可

提案4 印西市木下地区歴史講座（木下まち育て塾）

○9 △1 →可

付帯意見について、ふせんに記載した各委員の意見を模造紙に貼りだして下記のとおり整理し、牧野委員長と桑原委員が説明、最後に牧野委員長が講評を行った。

提案1 市民ミュージカル（ミュージカルカンパニー「いちごハウス」）

【付帯意見の項目別掲載】

協働事業としての位置付け

- ・担当課との関係等から協働事業としては難しいのではないかと。
- ・文化ホール、付帯設備の提供及びチケットの販売等で、市の協力なしでは成立しにくい事業なので、事前に十分市の生涯学習課と協議してもらいたかった。
- ・同様の目的をもった団体との関係、公平性も考慮が必要。
- ・改めて関係課と話をして共通の意識を持ってほしい。公募人数等も不明で市民をまき込む要素があるか疑問が残る。

自主事業としての実施

- ・事業としては、一過性のものとしての印象が強かったです。継続性をどの様に考えている？育った人材を印西でどの様に活用するのかが見えてきません。プロとして育った人材をどう活用するかを明確にした方が良かった。
- ・協働事業としてプレゼンする為には過去の実績を知りたかった。次の公演の為だけになっていないか。印西の為にはそれでは無理だと思う。もっと深い部分を出してほしい。
- ・1団体の10周年記念公演イベントであり、残念ですが、協働事業としてふさわしくないと考えます。（活動は、今後がんばって下さい。）
- ・自主公演4回は印西市文化ホールでしたか。入場者状況はいかがでしたか。

文化面での地域づくりに期待

- ・文化面でのまちづくり、文化活動の活発化はとても大切であり、イベントの企画としては魅力がある。
- ・人作りは街作りに繋がるというポリシーは素晴らしいと思いますので、活動としては継続して欲しいと思います。
- ・市民参加型の文化事業は重要と思われる。但し、ミュージカル単独では、市民の多様なニーズに答えられていないように見える。ミュージカルに限らず多様な舞台公演の文化事業として企画を再考することはできないか？
- ・地域の文化向上に寄与する事業だと思います。市の担当課と十分協議されることを望みます。
- ・多くの市民が関わることが市民ミュージカルの良さであり、明確にそこに取組むことが重要。

提案2 道作古墳群歴史広場の維持管理事業（特定非営利活動法人小林住みよいまちづくり会）

【付帯意見の項目別掲載】

PRを！

- ・印西市民への広報については、担当課の役割として実施していただきたい。
- ・対象地域の維持管理に加え、歴史・文化的価値の啓蒙・広報を市と協働して積極的に進めて頂きたい。
- ・古墳群についてはぜひより一層のPRを行って、市民への周知を行ってほしい。
- ・道作古墳をもっとPR拡大をお願いしたい。小林周辺だけでなく印西市内へ。
- ・古墳のまわりの素晴らしさをピーアールして下さい。
- ・参加してみたくなるような事業だと思いました。もっと、場所のピーアールをしてほしいですね。

期待したい

- ・古墳群と古墳広場が、市民が憩えるふれあいの場となることを期待します。
- ・印西市の道作古墳群整備事業が今年度末に完了するに当たり、古墳広場の草刈り、樹木の管理の10年間の実績を持つ「小林住みよいまちづくり会」のこのご提案は、当を得ており、グッドである。
- ・各々の項目について内容が明確である。実施できる可能性が高い。

（委員からの）提案

- ・近隣の里山と一体とした自然散策の場としての整備の観点からも、維持管理の範囲や内容を検討して頂きたい。
- ・大変な作業のようなので、それだけに継続していける体制を整備して行ってほしい。
- ・付近にニホンアカガエル・ホタル自生地があるすばらしい里山に位置する道作古墳群協働事業の実りある成果を希求します。古墳広場の花植栽等は、花屋さんの花ではなく、いにしえからの小林地域に生息するものを選定いただけたらと思います。すばらしい古墳群の雰囲気や損なわない配慮をお願いいたします。
- ・協働とした場合、提案者の労働力等の負担も明確にしておいた方が良いでしょう。

提案3 竹袋調整池と周辺地域の維持管理事業（特定非営利活動法人エコネットちば）

【付帯意見の項目別掲載】

継続した維持管理でよりきれいになっている！

- ・今後とも憩いの場として継続的にきれいに維持管理されることを期待します。
- ・いつも美しい場をありがとうございます。ふれあいまつりも楽しみです。頑張ってください。
- ・永年の活動に感謝します。維持管理は体力と忍耐です。大変でしょうが頑張ってください。

さい。費用に関して、消費税プラス分ほどの様にみているのか、一言ご意見を願います。

- ・継続して行って下さい。毎年きれいになっているように思います。
- ・花畑の整備、定期的草刈やひょうたん島池の水生植物の除去、随時のごみ清掃は、竹袋調整池と周辺地域の景観維持の為に重要であるので、（もっといい方法があるのではと毎回思うが…）当面、エコネットちばさんには頑張ってもらいたい。
- ・年8回の草刈り大変の事と思います。地域の為、今後ともがんばって下さい。よろしく願いいたします。
- ・周辺の環境整備に継続して計画的にご尽力していただきありがとうございます。

市との協議を

・何時まで協働事業として続けてゆくのか、将来のあり方を市とも継続して相談して行って頂きたい。（市の回答は何時も同じですが…。）

担い手について

- ・イベント内容を工夫していただければ。ボランティア・協力者の拡大を。

利用者へ

- ・活動内容についてもっと知ってもらうためのPRの場があればと思いました。利用する側も感謝の心がうまれるのではと。

提案4 印西市木下地区歴史講座（木下まち育て塾）

【付帯意見の項目別掲載】

PRを

- ・講座にばかり話が集中しているが、せっかくの歴史的建造物と言う事なので、その建物の見学等は市民にどう伝えているか？

卒業生

- ・講座の卒業生を団体に巻き込んで展開できる様な仕組みを考えてみては？
- ・木下の歴史に詳しい住人がかなり多く見受けられます。地域の人しか知らない重要な事項を掘り起こし、市民に知らせていく方法を考えてみては？
- ・印西語り部の発掘保存を考えて頂きたい。

対象の拡大

- ・新たな受講者の開拓を図るために特別講演会や講座内容の拡充を図って頂きたい。
- ・とても意義のある事業なのでより対象者の範囲が広がるための方策を継続して願いたい。
- ・講座場所の拡大を印西市全体へ。多くの市民に知らしめる、木下、歴史の理解へ。
- ・スペースの関係で参加人数の限られる講座については、開催方法を含めた改善案を

検討して頂きたい。

- ・ふるさとへの愛着を深めるためにも子供たちにもわかりやすい講座等を継続して欲しい。
- ・子どもたちへのプログラムをつくっていただければもっと広められると思います。
- ・今後も特に子供たちの総合学習の場で紹介するなど、広報に努めてほしい。

さらなる発展に

- ・新しい事業内容を考えられれば可。今のままの継続では自主事業でも実施できる。
- ・事業の発展を期待します。今後も、まちの為にがんばって下さい。
- ・「寺小屋」で、利根川舟運と木下河岸の歴史的価値を知識として学ぶことは重要である。しかし、特別講座等で舟の川巡り、印西の文化的建物を廻るバスツアー等で、実感として木下、六軒地区の歴史を感じてもらおう企画を考え、今後、もっと塾生の若返りを図ってもらいたいと思う。

(7) 閉会

次回の公開審査会の日程及び今後の協働事業のスケジュールについて、事務連絡を行った。